

学校訪問シリーズ 34

# 由布市立西庄内小学校から学ぶ

## 学校経営から学ぶ

学校の教育目標「志を持ち 学びを生かす 庄内っ子の育成 ※庄内っ子…ふるさとや生命・平和を大切に、公正公平で思いやりがある子ども」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「伝え合う力」「道徳的判断力・実践意欲」と定め、授業改善チーム、環境チームを中心に組織的、計画的に実践を行っています。



本校は道徳教育に力をいれています。授業では、自分の言葉で伝え合ったり、振り返ったりする場を設定することで、きまりの大切さ等の道徳的価値を自分ごととして考えさせています。

また、左の写真のように道徳の授業で学んだ様子を校舎内で掲示することで、子ども達が「道徳でしたやん」など道徳での学び（道徳的心情や道徳的判断力）を基盤としながら、学校生活の困りを解決しようとする、道徳的实践意欲を育てています。

## 授業から学ぶ

今回参観した授業では、先生方は子どもの発言だけでなく、子どもの操作やつぶやきを見逃さず、子ども達の意欲を引き出していました。

今後は、子どもどうしの学び合いを多く取り入れることで、挙手する子どもだけでなく全員が説明に参加できるような工夫をされると良いと思います。その際は、教師は全体を俯瞰的に見ること、それぞれのグループの良さや進捗について形成的な評価を行い、次への活動につなげると良いと思いました。



**正対する**  
資料の主人公と対話する。  
多くの友達と対話する。  
最後は自分と対話する。



**相手を意識**  
自分の考えをみんなに伝えるために、表現を工夫する。



**発見する!**  
自分が見つけたこと、予想したこと、感じたことは、みんなに伝えたい。



**根拠をもとに**  
自分の考えをもつためには、経験だけでなく、いろいろ調べる必要がある。